

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- 日本洋書協会セミナー報告……………1
- 委員会報告<文化厚生委員会>・理事会報告……………2
- 海外ニュース……………3
- 会員の動き・訃報・追悼 石神幸宏氏……………4
- 出版文化史逍遙(93) 洋書の歴史雑記帳(XLVII)…5

日本洋書協会セミナー報告

『個人情報保護法についての経済産業省分野を
対象とするガイドライン：概要と解説』

日 時：平成16年11月17日（水）15:00～17:00

会 場：国際文化会館（六本木）

受講者：38名

『個人情報保護法』が施行されるまで間がないという事もあり、協会会員のおそらくほとんどの企業が何らかの形で個人情報を保有しているであろうの予想から当セミナーを企画した訳ですが、予想に反し受講者が38名と意外と少数であったのには若干失望をしたのでありますが、大手を中心として協会会員の中には既に独自で積極的な取り組みを行っているゆえ不要である由、これも考えてみれば当たり前であったと多少の反省をするところでもありました。

今回のセミナーは『ガイドライン』作成の当事者でもあります経済産業省、商務情報政策局、情報経済課より講師を迎えることができ、講演の進行、内容とも受講者には分かり易く要領を得たものであったと感じております。反面、日本洋書協会会員のためにご足労願った訳であり、協会会員より個人情報保護法についての行政処分を受ける企業が出るようなことになると協会としては経済産業省に対しても恥ずかしい思いをしなければならないと気持ちを引き締められる思いもしています。主務大臣が認定する『認定個人情報保護団体制度』も設置されているとの事、当協会も認定団体として対処できればと思う次第です。

約1時間40分の講演後の質疑応答の時間には、何時になく活発な質問が多数出て、受講者数はいまいちであったけれども『個人情報保護法』が我々に与えている影響はかなりのものであるとの感じも持ちました。時間の関係もあり、十分な質疑応答で締めくくることはできませんでしたが、今回のセミナーで会員各位の



『個人情報保護法』への対処に一助を与えることができればと思っております。

最後になりますが、今回の会場使用並びに受講者募集につき、ユサコ様には多大なご尽力を賜りましたことを報告させていただきます。

広報委員会委員長

鈴木 仁(雄松堂)

セミナーのレジメ及びガイドラインテキストについては協会ホームページ、個人情報保護法関連資料については、以下をご参照下さい。

(内閣府)

<http://www5.cao.go.jp/seikatsu/kojin/index.html>

(経済産業省)

http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/privacy.htm

フォーティ・ラブ (JAIP テニス同好会) 2004年晩秋合宿

【11月27日(土) 東大宮ビッグスターテニスクラブ】

前回の秩父ミューズパーク(埼玉県秩父市)とは違い、東大宮駅徒歩20分のコートへのテニス合宿は、交通の便がいいせいか、はたまた前回の秩父で大渋滞にはまり、次からは電車で来る!!と考えた方が多かったのか電車を利用して来る人が多かったと思います。

今回は前回の10名を上回って13人の方が出席してくださいました。また今年最後の合宿ということで納会も含まれていましたので、大成功だった幹事の方などおっしゃっていました。今回のコートは前回のハードコート(コンクリートみたいなコート)とは異なり、クレーコート(コートが土でできている)でのゲームでボールの跳ねなどがどうも勝手が違うとほやいていた方もいましたが、3面ものコートを使っただけの練習にみんなが参加できて大変満足のいくものだったと思います。しかし13人で3コートのためほとんど休む暇もなく、ひとつのゲームが終ればまた次のゲーム…という具合に皆さんずーっと走り回っておられました。私は普段の生活では全く運動はしないのでいつも参加していらっしゃる先輩方の体力には驚かされました。



私は今回で2回目の参加なのですが、テニス同好会の皆様は本当に優しくいい方が多く、最初に参加した時点で「もうずっと参加するよね。」と思えました。はじめは私もこの同好会に参加することは、高校以来テニスはほとんどやっておらず、下手だし…と戸惑っていたのですが、同期の浦上に「楽しいよ!」と聞かされ参加してみて本当に良かったと思います。たくさん仲間で試合をしたり、その合間にお話をしたりするのはすごく楽しいものですし、趣味を通じて、年齢に関係なく幅広く人にめぐり合えるのはすばらしいことだと思います。(仕事など全く気にせず、実際お名前は知っているがどこの会社の人か分からない人が多い)なので、迷っている方などいれば是非来年から参加してください。前回も今回も女性は私だけなので、是非女性の方!テニスしませんか??毎回新しい方も来ているし、みんな“WELCOME”なのですぐになじめますし、楽しいです!!是非!!

そして幹事の力石さんの疲れ様でした。2回ですがとっても楽しくテニスをさせていただいています。来年も頑張りましょう!お手伝いします。

日本出版貿易(株) 青木真由子

今年度最後の「早春合宿」は2005年3月12日(土)、湯河原温泉(当日泊)を予定しています。ご質問等ありましたらお気軽にお問い合わせください。

力石(東京ブックランド)

TEL:03-3942-1102 EMAIL: ricky111c@hotmail.com

理事会報告

日時:平成16年11月25日(木)

1. 委員会報告

(1)総務委員会

- ・通期予算見込について。収支計算・予算対比表により説明があり了承された。

- ・予算超過費目について。人件費は事務局長引継ぎによる人件費重複による、また会報制作費は前期の原稿料が今期に支払われたためと判明。いずれも時期予算編成に当たって注意すること。
- ・会費未納会員には文書により支払いを督促する。

(2)広報委員会

- ・ 11月17日（水）開催の『個人情報保護法』については17社、37名の参加があった。一部大手の参加が無かったため参加者が減少。次回には出来るだけの参加を要請。

(3)事業委員会

- ・ 神保町B Fは初日の30日（土）は雨で全社出店中止、31日（日）も雨はあがったが、2社の出店にとどまった。

(4)ダイレクトリー・HP委員会

- ・ 2005年版ダイレクトリー無償配布に向けて、広告の勧誘を始めたい。
- ・ HPのニュースの提供を御願いたい。

2. その他

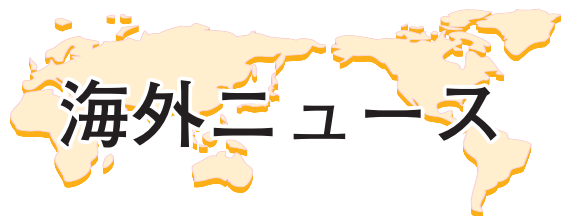
- ・ 前回協会のパンフを作ったかどうかと言う意見に対して、

①利用目的をはっきりする必要がある。（新会員に配布、セミナーの講師への説明など）、引き続き検討する。

②協会の概要程度ならダイレクトリーに載せる方法もある。WEBとのリンクも必要。

- ・ 前回理事会での「若手会議」について、以下の通りとする。（資料配付）

理事会社から各1名、他の会員から15名程度を集めて行う。理事会社は人選を12月10日までに事務局へ、他の会員への勧誘は賀川理事と事務局で打ち合わせを行う。第1回開催日時等は別途連絡する。



◆ Baker & Taylor スペイン語書籍販売に進出

Baker & Taylor (B&T) は Libros Sin Fronteras (LSF) を買収した。これで同社は、この2ヶ月間に2社の書籍販売会社を買収したことになる。ワシントン州オリンピアに拠点をもつLSFは、主に南米のスペイン語書籍の流通に特化した販売会社である。今回の買収に伴い、LSFの所有者Michael Shapiro氏はB&Tのオフィス（ニュージャージー州ブリッジウォーター）に移り、Vice President of Spanish Language Materialsとして同社のスペイン語書籍全般を統括する。今後、B&Tが扱うすべてのスペイン語書籍はLSFの名のもとに販売される。B&TのGeorge Coe氏によると、LSFが持っているスペイン語書籍に関する完璧な知識ばかりでなく、スペイン語書籍の出版社との間の強いパイプも、今回の契約の大きなファクターだったとのこと。この買収は、去る9月に行われたJ.A. Majors買収の後を受けてなされたものである。

PW Daily for Booksellers NOV/17/2004

◆ MoMA（ニューヨーク近代美術館）の書店リニューアル・オープン

MoMA Design and Book Storeが大幅に規模を拡大（5,800フィート四方）し、75フィートものガラスのファサードを持つデザインにリニューアルされた。売場は一つのフロアにすべてがまとめられ、西53番通りに直接面したものと、美術館ロビーにつながったものの2つの出入口から入る。美術館が出版する全ての新刊がそろう書店と読書室を2階に、展示会ショップを6階にもつ新しい美術館は、最終的には8,000フィート四方の販売スペースを持つことになる。

メインの書店では、2,000以上の美術及び建築関係書を販売し、読書室に常備される約1,000タイトルほどの書籍は4～6週間ごとに入れ換えられる。通りをはさんで向い側にあるMoMA Design Storeは継続して営業され、家具・アクセサリ・装身具など本以外の商品を販売する。そして3年前にオープンしたMoMA Design Store Sohoでは日本のMUJI（無印良品）のニューヨーク代理店として、その商品を販売している。

PW Daily for Booksellers NOV/18/2004

会 員 の 動 き

代表者変更

エルゼビア・ジャパン株式会社

ヘルス・サイエンス部門

代表取締役

新 任：太田 之憲 (HS部門担当)

退 任：スティーヴン・トロース

異動日：2004年10月

株式会社南江堂

代表取締役 (敬称略)

新 任：本郷允彦 (代表取締役会長)

小立鉦彦 (代表取締役社長)

異動日：2004年11月

訃 報

かねてより病氣療養中でしたが当協会理事、教文館社長の中村義治氏が12月3日ご逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

葬儀は下記日程で社葬にて行われます。

日時：12月27日 (月) 午後1時～2時30分

式場：日本キリスト教団 銀座教会

東京都中央区銀座4-2-1

Tel: 03-3561-0236 Fax: 03-3561-0242

東京メトロ銀座駅より徒歩1分

喪主：中村タケ子様 (奥様)

追悼 石神幸宏氏

9月27日未明、石神幸宏氏が亡くなられた。享年67才。昨年末に21年間日本代表として勤められたアメリカ大学出版局を退職され、次の新しい仕事の準備に着手されていた折りだけにその死が惜しまれる。洗礼名はアンドリュース、通称アンディーとして皆から親しまれ、いつも微笑みを絶やさぬ敬虔なカトリック教徒だった。葬儀は彼がそのメンバーとして奉仕活動をしていた四谷の聖イグナチオ協会 (マリア大聖堂) でカトリックの典礼に基づき荘厳にとり行われた。昨年末に大腸癌が発見され、入退院を繰り返された後、ホスピス病棟で安らかに息をひきとられた。

石神氏とはこれまで業界の集りのほか学会等出張で何度か一緒になる機会があったが、4月中旬永年のアメリカ大学出版局勤務の労をねぎらうこともあって夫人同伴で食事をしたのが最後になった。うかつにもそれまで氏が入退院を繰り返されていたことを知らなかったが、その時は5年生存率80%の宣告を受けたとのことで氏は残された時をどう過ごすかをまるでその会話を楽しむかのようにたんたんとして語っていたのが強く印象に残っている。

氏がこの業界に入られたのは1968年、コリアーマクミランの代表業務 (いわゆるレップ) を始められて以来のことだからほぼ35年間、出版社のレップをされていたことになる。コリアーマクミラン時代にはいろいろとご苦労もあったやに伺うが、数年前から話しがあったアメリカの主要大学出版局を集めて代



「2003年協会サマーパーティーで退任のご挨拶をされる石神幸宏様 (右)」協会ホームページより

表業務を始められた頃は水を得た魚のように日本以外にも韓国、台湾、ホンコン等の東アジア諸国を毎年回っておられた。私自身もかつて東アジアの国々に出張する機会があり、共通の友人も少なくなかったが彼等に会うと「アンドレは元気か」と最初に聞かれるのが常だった。それだけ氏は皆に信頼され、親しまれていた。その後アメリカを始めとして大手の出版社の激変の時代が始まり、アメリカの大学出版局も他の商業出版社と変らない売上利益追及に走ることになり、かつての大学出版局としての独自性が少なくなってきたが、氏はその最後の「古き良き時代」のレップを全うされたと言えるのではないだろうか。

(塚本記)

洋書の歴史雑記帳 [XLVIII] ドイツ学術受容の歴史(11) 鈴木陽二

◆シーボルトの来日 (1)

Philipp Franz von Siebold は 1796 年に南ドイツのバイエルン州ヴュルツブルクに生まれ、医学を学んだ後オランダ東インド陸軍少佐としてジャヴァに赴任し、ついで長崎のオランダ商館付医師を命じられて 1823 (文政 6 年) に来日した。来日の目的は商館医師の仕事ばかりではなく、オランダ東インド政庁から日本に関する万有的な調査を命じられていた。広く自然科学に興味を持ち造詣の深かった彼は、諸分野について調査を行うと同時に、多くの子弟に西洋医学と博物学を伝授した。日本の近代科学の萌芽発展は、実に彼の扶植した知識を摂取した蘭学者によって培われたものといえることができるだろう。

シーボルトは商館付の医師だったが、長崎奉行の特別の計らいで出島から出て長崎町民の治療に当たることになった。そして 1824 (文政 7 年) には奉行の許可を得て郊外の鳴滝村に施療所・医術伝習所を設けて施療や医学研修を始めたが、やがて高名がつとに知れ渡り多くの蘭学者や蘭学志望者が入門に訪れた。

長崎くちで知られる諏訪神社からシーボルト通りを西に進むと、商店街が切れたその先に静かな住宅街が広がっている。その中を流れる鳴滝川に沿うように、山を背にした地に国指定史跡の鳴滝塾跡はある。1859 (安政 6 年) 当時の写真が残っていてそれを見ると、2 階建ての木造家屋を中心に 2～3 棟の建物が見られる (書斎棟と石造りの蔵という)。敷地はさほど大きくはないが周囲には家屋は見え、のどかな田園風景が広がっている。現在、その界隈はすっかり住宅地に変わり塾跡は公園風に整備されているが、日本で始めて本格的な西洋医術による治療と、医学・自然科学の組織的な教育が行われたその場所に身を浸していると、歴史の重みに空気までが妙に張り詰めて感じられた。この塾の跡地に隣接して「シーボルト記念館」があるが、オランダのライデンにあった彼の旧宅をイメージした美しい赤レンガの建物で、館内は彼に関係する貴重な資料が展示されている。

さて、彼が日本での業務遂行にどんなに意気込んでいたかは、来日の際バタヴィアで注文した書籍にすることが出来る。1825 (文政 8 年) に長崎で受領したこの 43 種もの本の中でドイツ書を 2～3 拾って紹介しよう。

K.P.J. シュプリングエルは 18 世紀～19 世紀のドイツの医者・植物学者で、このとき輸入された『植物知識入門』は後年シーボルトが商館長の江戸参府に随行した折に宇田川榕庵に贈呈し、榕庵はドイツ語を勉強して本邦最初の本格的な西洋植物学の紹介書『植学啓原』(1834 = 天保 5 年) を著した。ゲーテの友人だった博物学者ネース・フォン・エーゼンベックの主著『植物学ハンドブック』、博物学者・地理学者のアレクサンダー・フォン・フンボルトの熱帯地方の旅行記、ドイツロマン主義時代の自然哲学者・博物学者・医学者だったローレンツ・オーケンの大部の博物学教科書など、シーボルトがドイツ人である関係で当然ながらドイツの学者による著作が多く、29 冊に上っている。同時に、これほどドイツ書が多かったのは、この時代のドイツ学術の先進性を証左しているものでもあろう。

ところで、彼が日本に持ち込んだ本は上記リストのものだけではなく、日本に関する入手できる書籍はことごとく購入したという (ハンス・ケルナー)。ドイツ書では、ケンペルの旅行記は当然ながら、クルーゼンシュテルンの世界周航艦隊に参加して長崎にも立ち寄ったことのあるドイツの博物学者・医者の G.H. フォン・ラングスドルフ『世界周航記』なども含まれていた。

さて、日本の西洋医学の初期は、商館員が出島から外に出るのを厳しく禁じられていた関係で、主として出島に出入りの出来た通詞が習得するだけだった。シーボルト以前に商館付医師から、あるいは商館長自身から学んで医学を身に付けた著名な通詞を挙げると、西玄甫、榊林流医学の開祖榊林春斎 (鎮山)、吉雄耕牛などが知られている。これら通詞の間でかすかに伝承されていた西洋医学は、シーボルトの来日により一挙に胎動しだした。蘭学の発展には鳴滝塾の役割が実に大きく、シーボルトに師事した蘭学者は 150 名を数えるというが、美馬順三、岡研介、高野長英、二宮敬作、高良斎、小関三英、伊藤圭介など、蘭学の深耕のみならず日本の行方にも影響した逸材が育った。〔参考文献：竹内精一「1823 年シーボルトが欧州とバタヴィアから舶載させ 25 年長崎で受取った書籍とその後の運命」／ハンス・ケルナー (竹内精一訳)『シーボルト父子伝』／中西啓『長崎のオランダ医たち』

(元丸善・本の図書館長)

アイビーシーパブリッシング株式会社 (Intercultural Book Company) では、日本で広く愛読されている文学作品から、日本文化の海外への普及を目指した on Japan のビジュアル書、さらに国際コミュニケーションの向上に役立つ実用書まで、多様な英文書の刊行を手がけています。同時に英語が楽しく学べるような和書の開発にも力を入れています。常に新しいアプローチとテーマを追い求め、読者の皆様に良質の書籍をお届けしています。



Tokyo Fragments
Short Stories of Modern Tokyo
by Five of Japan's Leading Contemporary Writers
『東京小説』 英文版

著者 盛田隆二、村松友視、林真理子、椎名誠、藤野千夜



The Tokyo Zodiac Murders
『占星術殺人事件』 英文版

著者 島田 荘司
文化庁現代日本文学の翻訳普及事業選定作品
御手洗シリーズのデビュー作、ついに英文版刊行。



70 Japanese Gestures

にはんのしぐさ70

著者 Hamiru・aqui
翻訳 Aileen Chang
ジェスチャーから日本を学ぼう。



Lady Gracia

A Samurai Wife's Love, Strife and Faith

『細川ガラシャ夫人』 英文版

著者 三浦 綾子



カタカナ タンゴロブ

著者 楠谷 大樹
英単語のトリビアで
ボキャブラリーを増やす!



Kanji Starter 2

著者 楠谷 大樹
『KANJI STARTER』 第2弾。
楽しく漢字を覚えよう!



アイビーシーパブリッシング株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-8
赤坂コミュニティビル7F
TEL 03-5770-2438 FAX 03-5786-7419
www.ibcpub.co.jp



YOHAN 洋販 (日本洋書販売株式会社)

【本 社】〒107-0051 東京都港区元赤坂1-1-8 赤坂コミュニティビル6階/7階
TEL 03-5786-7420 FAX 03-5786-7411